

13 商 工 観 光

(1) 商 業 (別表 13-(1))

令和3年経済センサスによると、管内の卸売・小売業の事業所数は2,125事業所であり、佐久市が全体の45.2%を占めています。これは、佐久平駅周辺や幹線道路沿いの大規模小売店舗を中心とするものです。

佐久市・小諸市の中心市街地や周辺の既存小売店は、多様な消費者ニーズに対応する大規模小売店やインターネットショッピングとの競合等により厳しい経営環境となっていますが、地域とともに新たなアイデアを活かした事業を進める等の活性化に取り組んでいます。

(2) 工 業 (別表 13-(2))

2022年経済構造実態調査によると、管内の工業は、事業所数516事業所、従業者数17,405人、製造品出荷額等6,626億円となっています。本地域の製造業は、機械系7業種（はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子、電気、情報、輸送）の出荷額の割合が高くなっています。

管内には、中小・小規模企業が集積し、小諸市、佐久市、御代田町には大企業の事業所も立地しています。新型コロナウイルス感染拡大による半導体不足の影響が徐々に解消され、自動車関連、工作機械関連を中心に受注、生産に持ち直しの動きが見られます。

(3) 観 光 (別表 13-(3))

令和5年観光地利用者統計調査（速報値）によると、管内の観光地の延利用者数は1,444万人であり、昨年比で131万人増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大前の水準までは回復していません。

「しあわせ信州創造プラン3.0」佐久地域計画に基づき、インバウンド需要の取り込みや、アウトドア・アクティビティの充実といった新たな価値観・行動を捉えた観光地づくりを推進していきます。

(4) 雇 用 (別表 13-(4))

佐久公共職業安定所業務月報（令和6年3月）によると、管内の有効求人倍率は1.42倍となっています。長野県（1.37倍）及び全国（1.28倍）の水準を上回りました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大とともに減少していた有効求人倍率は、管内、全県とも令和2年8月から回復傾向にありました。しかし全県は令和4年11月を、管内は令和4年12月をピークに減少傾向です。

地域振興局では、就業環境がより厳しい障がい者や母子家庭の母等の就職困難者の就業確保・拡大を図るため、地域就労支援センターの窓口としての職業紹介事業を実施しています。

○別表13-(1)
商業の状況

年 区分	平成28年			令和3年					
	事業所数 (所)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (億円)	事業所数 (所)	前年比 %	従業者数 (人)	前年比 %	年間商品 販売額 (億円)	前年比 %
小諸市	386	3,353	888	375	97.1	3,554	106.0	934	105.2
佐久市	957	6,630	1,943	960	100.3	6,947	104.8	1,981	102.0
南佐久郡	219	1,143	319	212	96.8	1,239	108.4	244	76.5
北佐久郡	557	3,155	825	578	103.8	3,622	114.8	808	97.9
管内計	2,119	14,281	3,975	2,125	100.3	15,362	107.6	3,967	99.8
県計	20,725	146,166	54,771	19,707	95.1	149,016	101.9	53,957	98.5
構成比	10.2%	9.8%	7.3%	10.8%	—	10.3%	—	7.4%	—

出典：経済センサス

○別表13-(2)
工業の状況

年 区分	令和3年(出荷額は2年分)			令和4年(出荷額は令和3年分)					
	事業所数 (所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (億円)	事業所数 (所)	前年比 %	従業者数 (人)	前年比 %	製造品 出荷額等 (億円)	前年比 %
小諸市	101	4,093	1,569	115	—	4,279	—	1,604	—
佐久市	241	8,926	2,182	290	—	8,853	—	2,564	—
南佐久郡	43	773	95	53	—	821	—	202	—
北佐久郡	48	3,359	1,746	58	—	3,452	—	2,256	—
管内計	433	17,151	5,592	516	—	17,405	—	6,626	—
県計	4,825	198,141	60,431	6,123	—	203,820	—	66,464	—
構成比	9.0%	8.7%	9.3%	8.4%	—	8.5%	—	10.0%	—

出典：令和3年経済センサス、2022年経済構造実態調査(令和3年経済センサスは4人以上の事業所、2022年経済構造実態調査は全ての事業所を調査対象としており単純比較ができないため、前年比は「-」と記載)

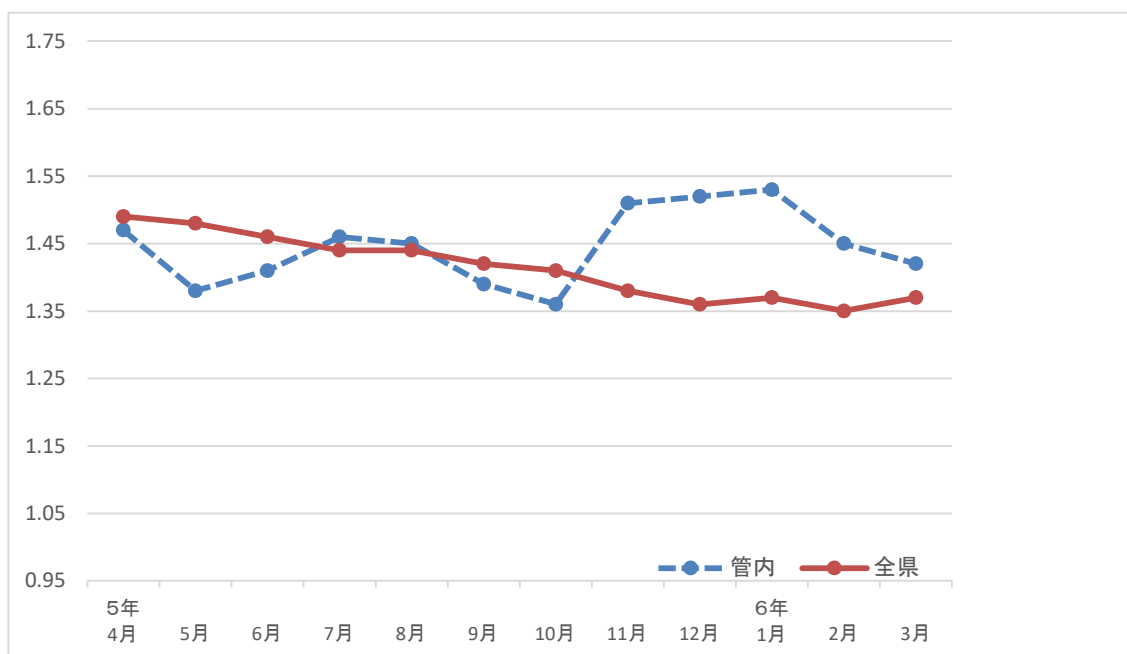
(3) 観光の状況

市町村	令和4年			令和5年						
	延利用者数 (万人)	観光消費額 (億円)	1人 当たりの 消費額 (円)	延利用者数 (万人)	前年比 %	観光消費額 (億円)	前年比 %	1人 当たりの 消費額 (円)	前年比 %	
小諸市	137.3	46.5	3,389	145.8	106.2	48.2	103.6	3,306	97.5	
佐久市	201.9	130.1	6,441	233.9	115.9	151.8	116.7	6,491	100.8	
南佐久郡計	89.3	34.9	3,908	95.1	106.6	36.6	104.9	3,848	98.5	
計	884.2	308.1	3,485	968.9	109.6	376.7	122.3	3,888	111.6	
北佐久郡	軽井沢町	712.9	213.8	2,999	771.3	108.2	268.0	125.3	3,475	115.9
	御代田町	11.8	4.2	3,553	20.3	171.3	7.1	170.1	3,528	99.3
	立科町	159.5	90.1	5,651	177.3	111.2	101.5	112.6	5,723	101.3
管内計	1,312.6	519.6	3,958	1,443.7	110.0	613.3	118.0	4,248	107.3	

出典：観光地利用者統計調査（速報値）

(4) 雇用の状況

ア 月間有効求人倍率の推移



出典：長野労働局発表

イ 直近1年間の有効求人倍率

区分	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月
管内	1.47	1.38	1.41	1.46	1.45	1.39	1.36	1.51	1.52	1.53	1.45	1.42
全県	1.49	1.48	1.46	1.44	1.44	1.42	1.41	1.38	1.36	1.37	1.35	1.37